

【緊急調査】
第2回新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う
職場への影響調査



公益社団法人

日本理学療法士協会

Japanese Physical Therapy Association

調査概要

調査期間：令和2年8月26日～9月9日

調査対象：以下に合致する会員 16,614名

1. 本会会員管理システムに登録されている
施設の会員連絡代表者
2. メールアドレス登録者

調査方法：メールによる調査依頼送付の上、
オンラインアンケートでの回答

調査目的：

- ・ 会員施設における収支についての実態を明らかにする
- ・ 会員施設における給与と採用状況についての実態を明らかにする
- ・ 会員施設における稼働率についての実態を明らかにする
- ・ 会員施設間のネットワークの活用についての実態を明らかにする

調査結果

項目	件数 (配信件数に対する割合)
配信件数	16,614 件 (第1回18,952件)
アクセス数	2,244 件 (13.5 %) (第1回6,306件、33.3%)
回答数	957 件 (5.8 %) (第1回2,097件、11.2%)

調査結果

1. 回答者について

Q 回答者の経験年数をお答えください。

臨床経験

20.6 ± 8.4年

(第1回20.1 ± 8.9年)

配属経験

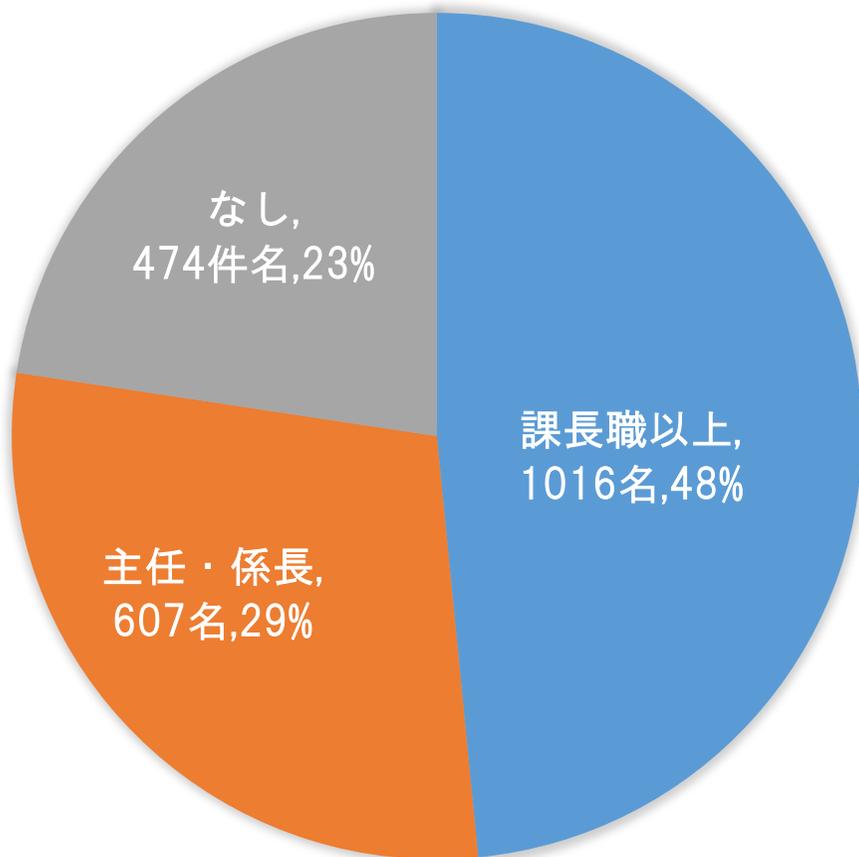
14.2 ± 9.6年

(第1回13.3 ± 9.6年)

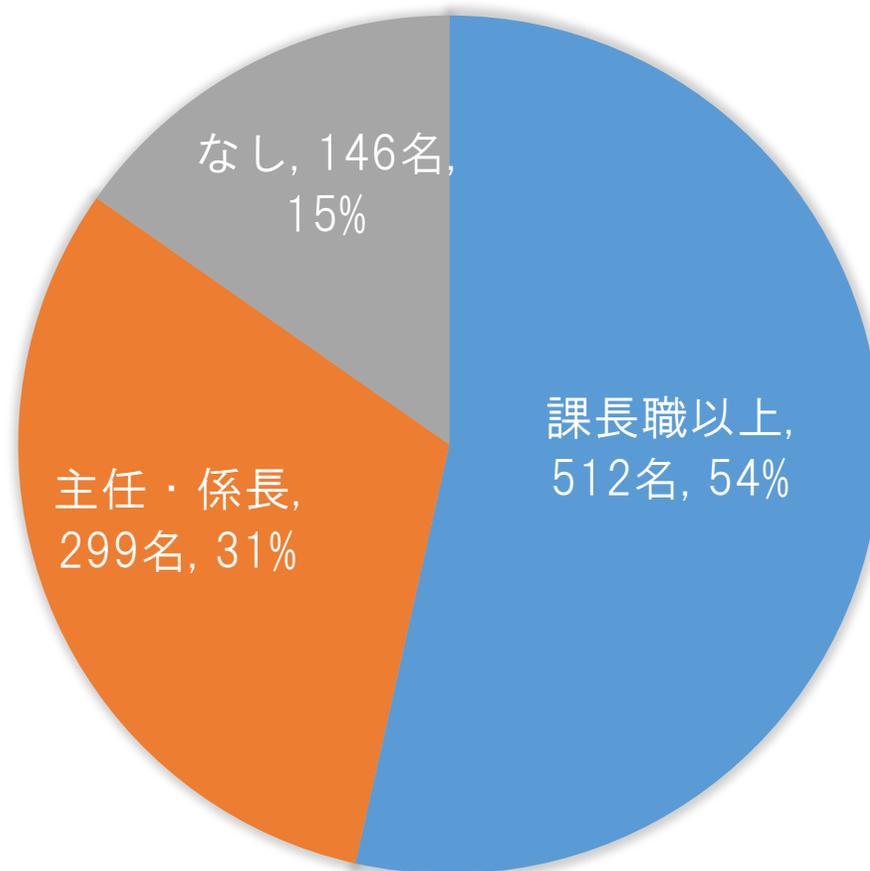
回答者の役職

Q 回答者の役割をお答えください。

【第1回調査】 n=2,097



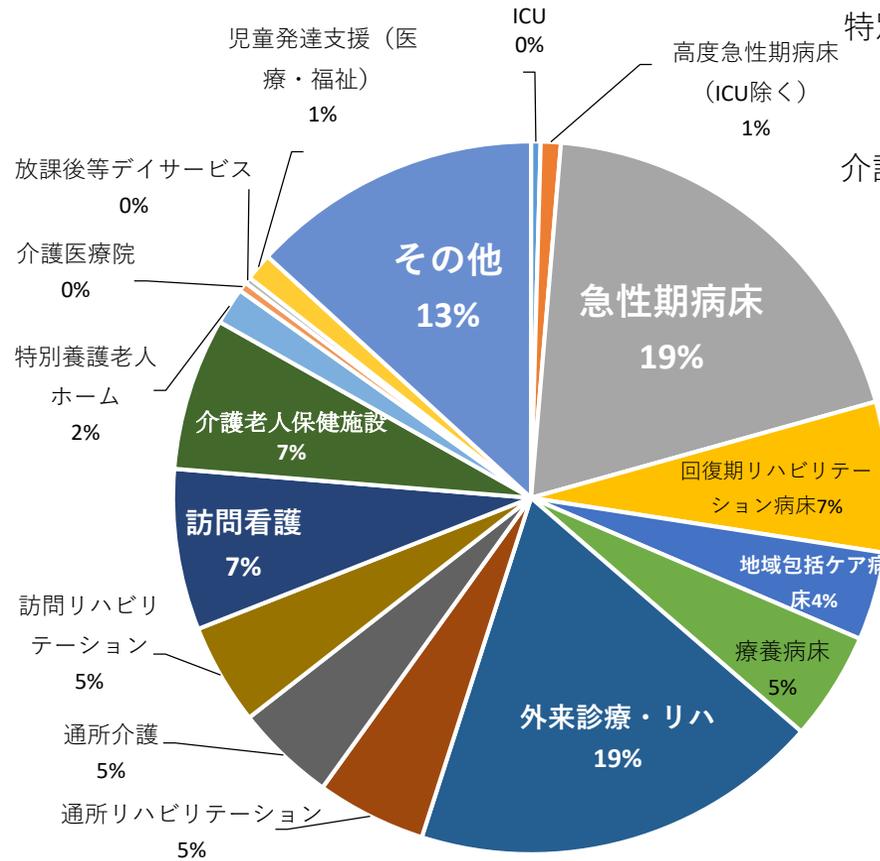
【第2回調査】 n=957



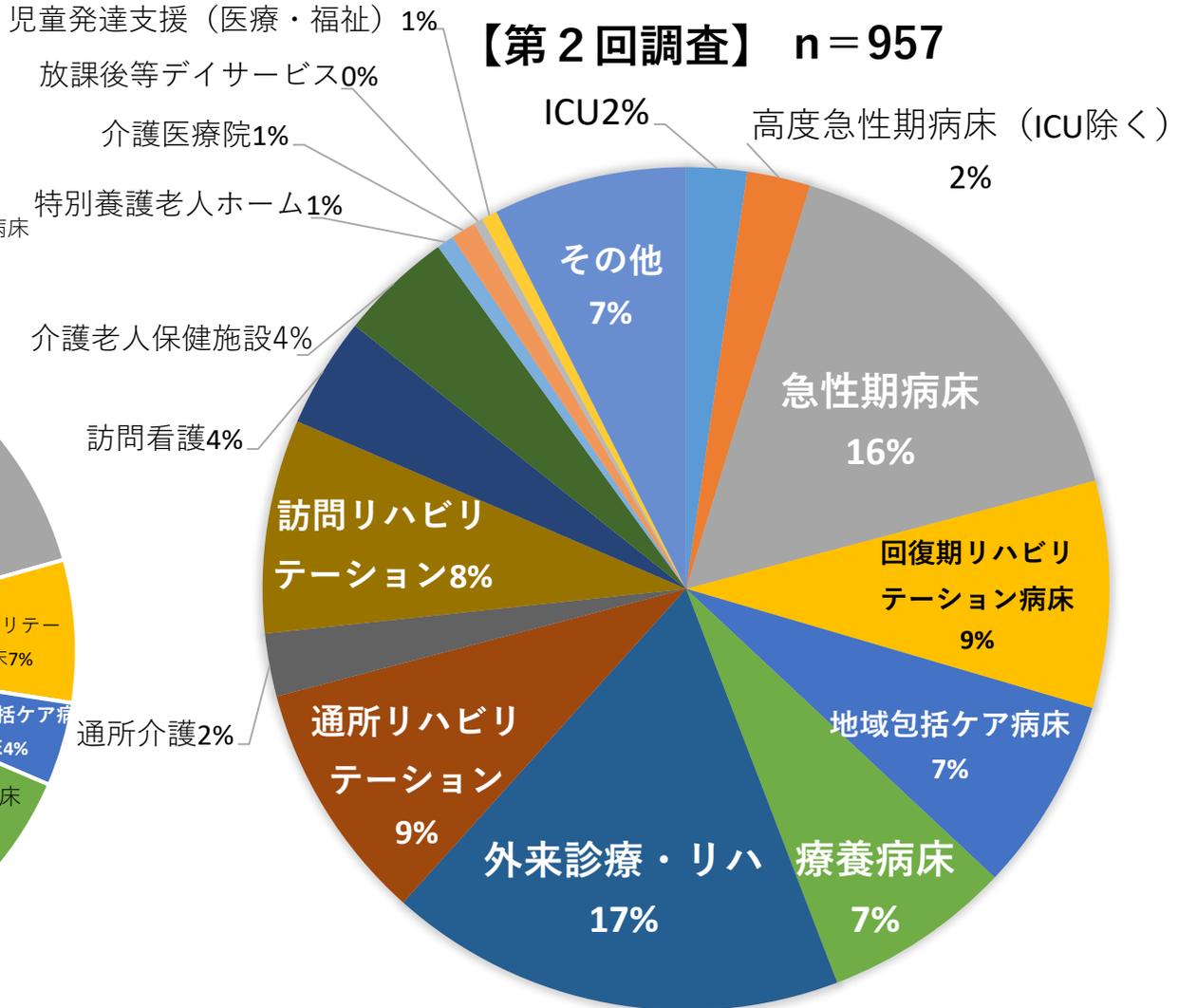
回答者の配属

Q 回答者の配属部署をお答えください。

【第1回調査】 n = 2,097



【第2回調査】 n = 957



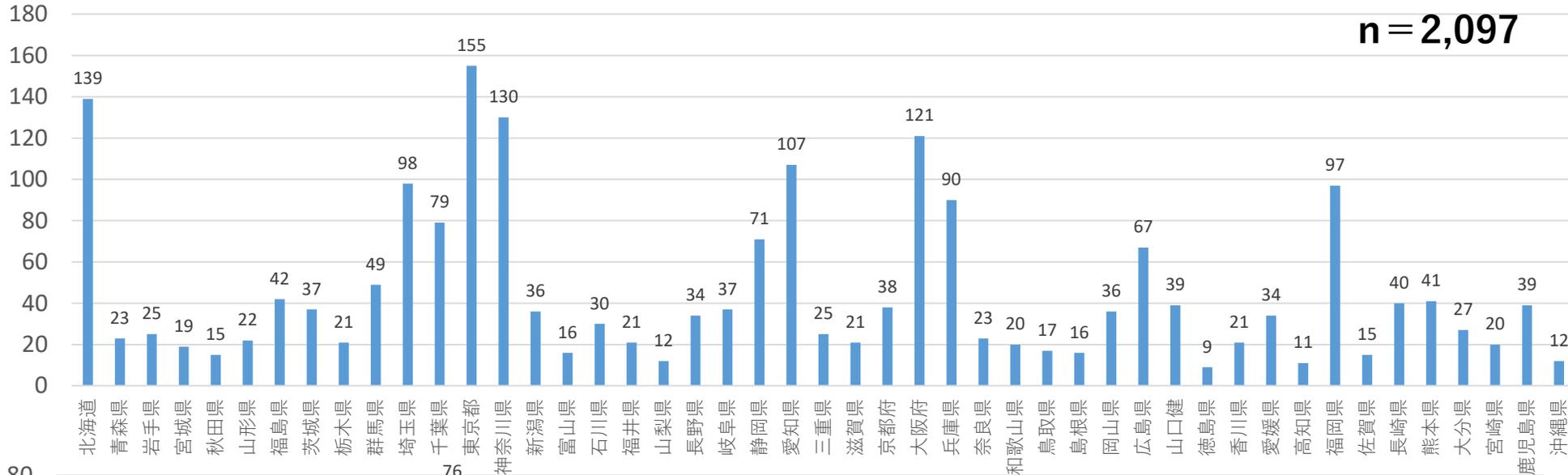
調査結果

2. 施設について

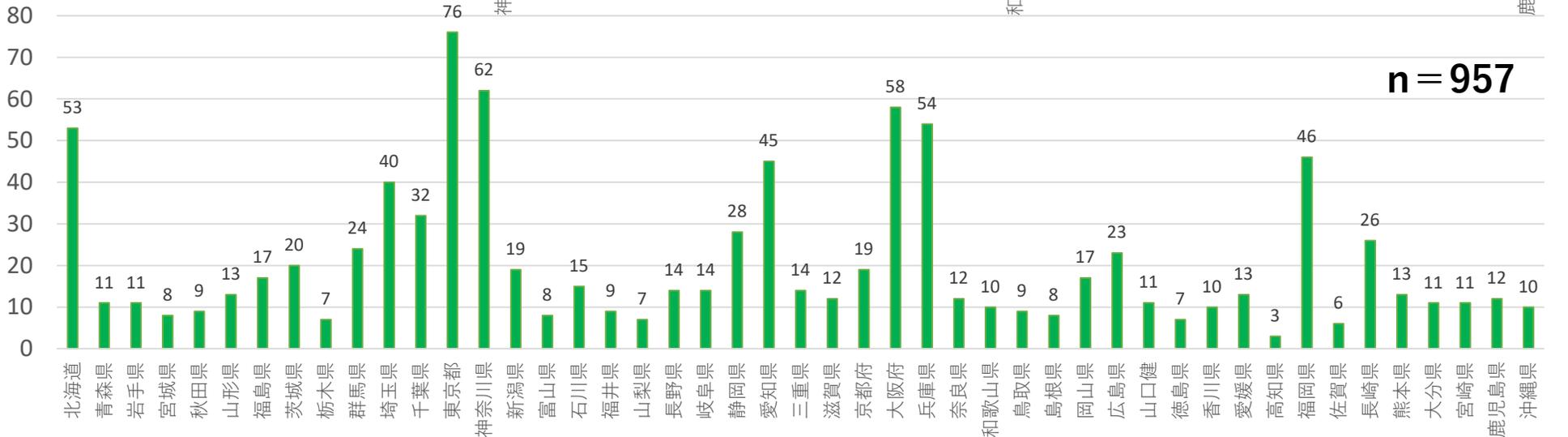
施設所在地

Q 回答者の配属部署をお答えください。

n = 2,097



n = 957



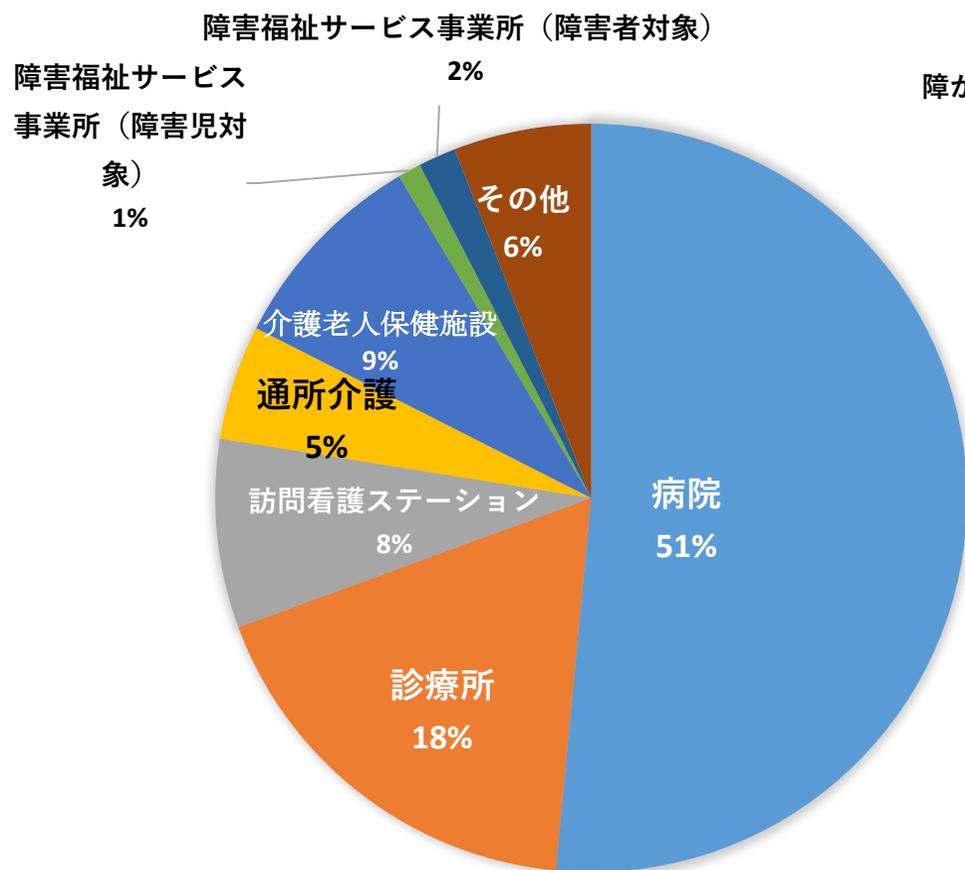
【第1回調査】

【第2回調査】

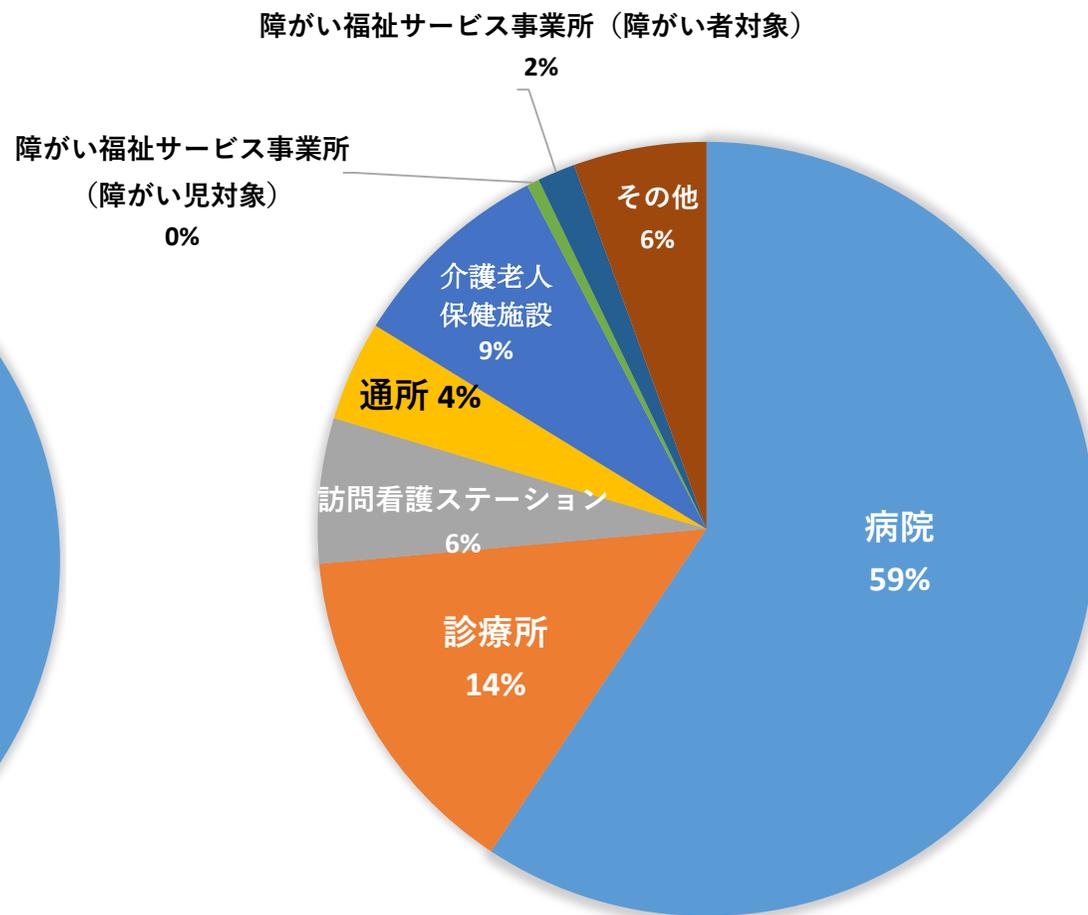
施設形態

Q 施設形態をお答えください。

【第1回調査】 n = 2,097



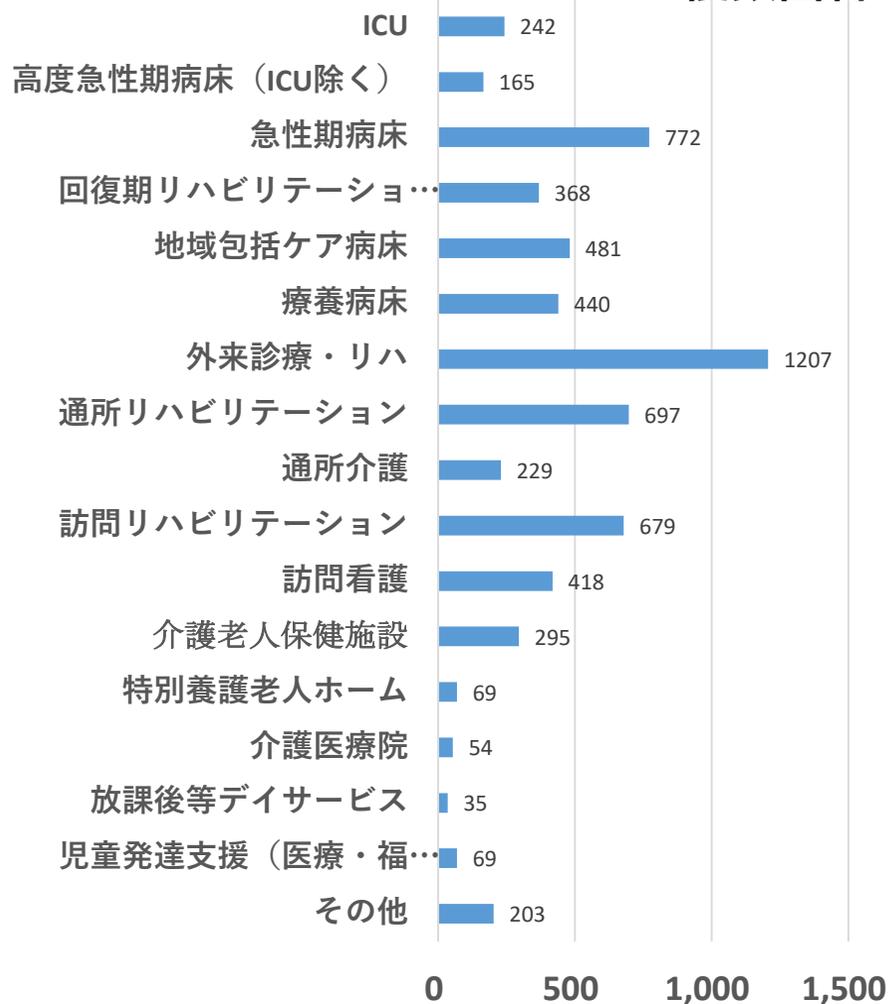
【第2回調査】 n = 957



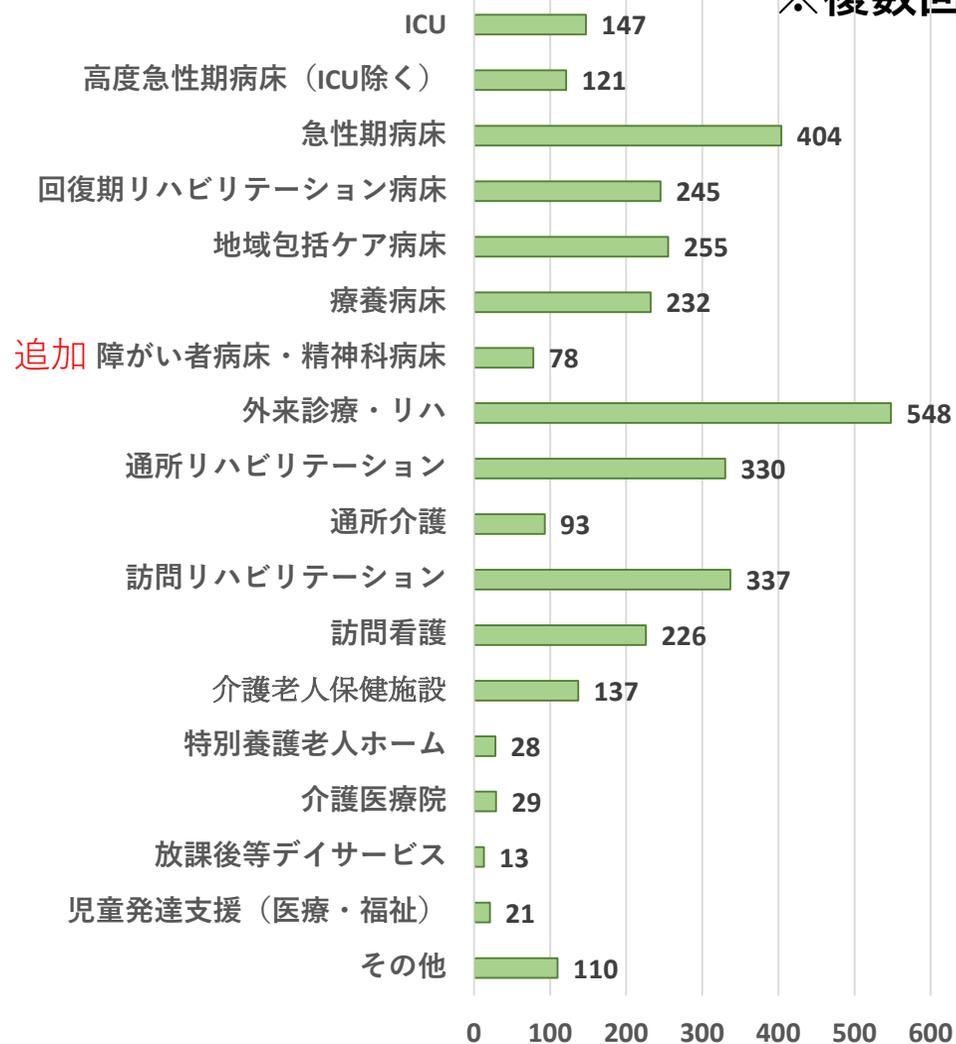
有する機能

Q 有する機能をお答えください。

【第1回調査】 n = 2,097
※複数回答



【第2回調査】 n = 957
※複数回答

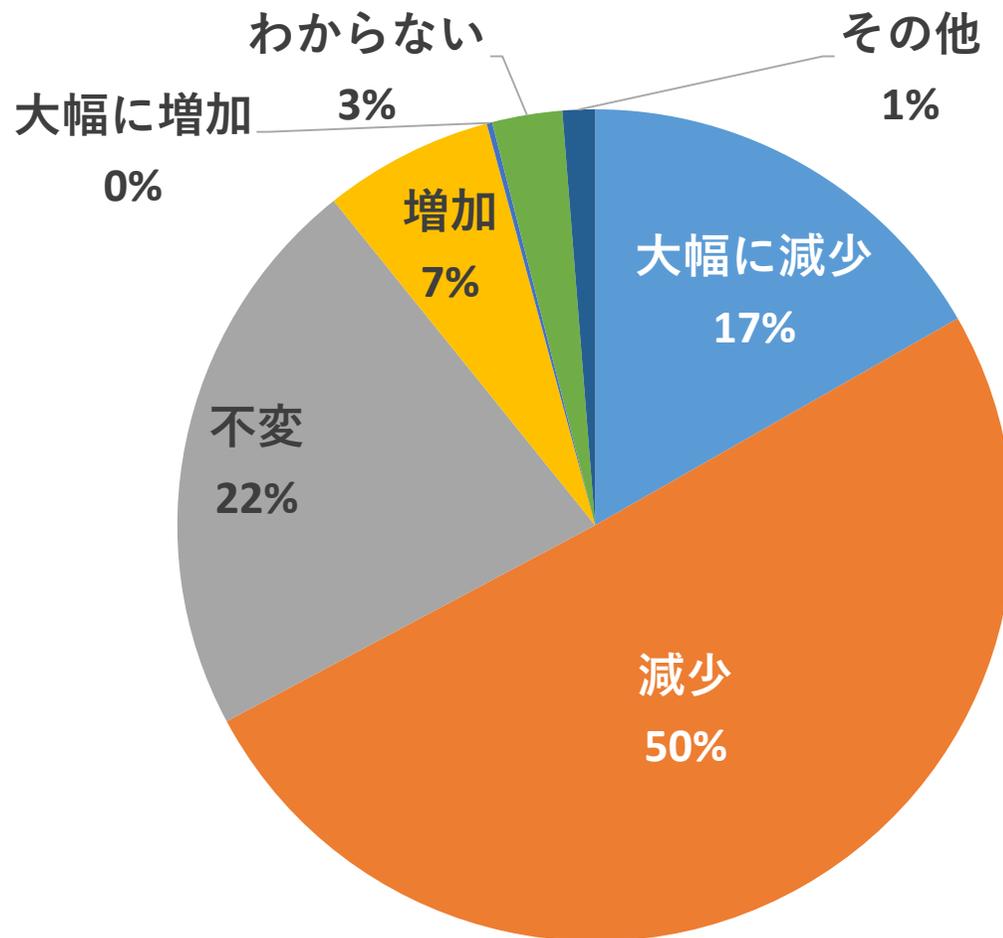


調査結果

3. 理学療法部門全体の収支について

理学療法部門全体の収支について

Q 新型コロナウイルスの影響により、前年度と比較して、今年度で増収・減収した状況がわかればお答えください。 n = 957

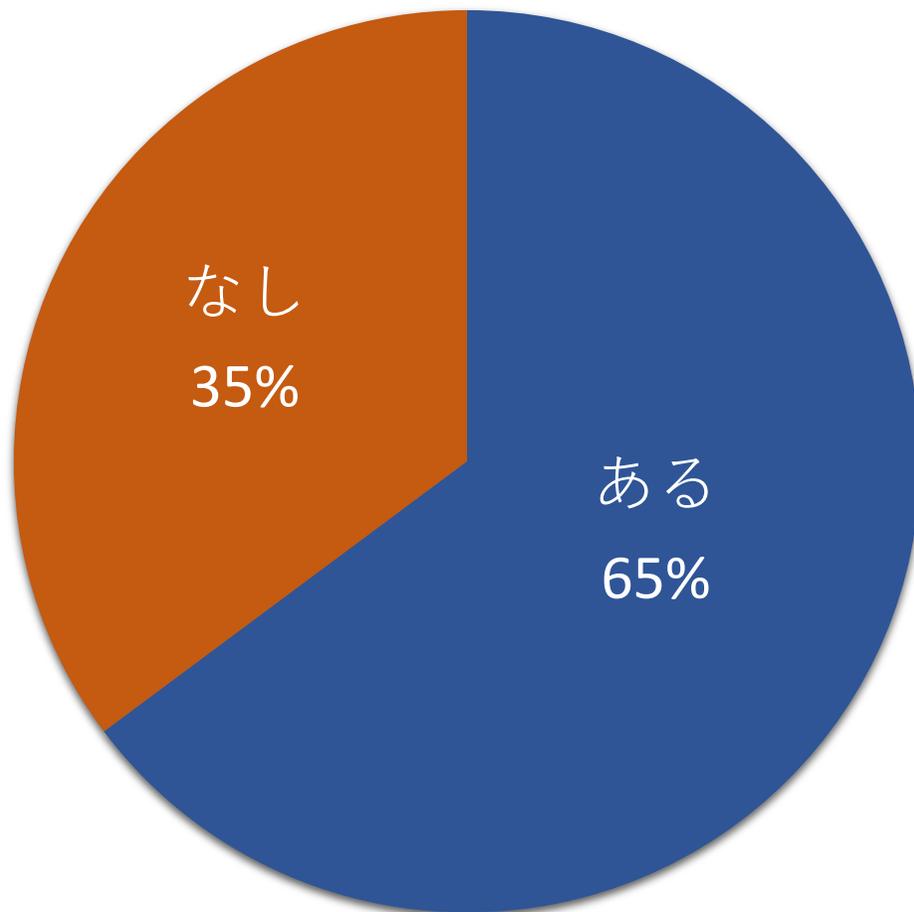


理学療法部門全体の収支について

Q 新型コロナウイルスの影響により、前年度と比較して、今年度で増収・減収した状況がわかればお答えください。 ※自由記載欄（原文ママ）

- 2020年8月に新規オープンのため比較なし
- コロナ特例でデイケアは増収月もある。通年で見ると、老健もデイケアもコロナによる収益への影響は少ないと感じている。
- 維持ですが、賞与に関してはわずかに下がったと聞いています
- 開院後1年未満
- 開業1年のため前年度実績がない
- 行政なので減収と家内が、コロナ対策で保健所も多忙を極めた。
- 今年度新設施設
- 職員増員に伴い増収であるが、新型コロナウイルスの影響により予定は未達
- 新規開設のため前年度比較できない。
- 新型コロナウイルスの影響では4月、5月に減収となったがその月以外は増収、累計では増収となっている。
- 新設施設のため前年度実績なし
- 訪問看護からのリハは6月に減少したが、7月には減少分以上に増加。
通所介護は大幅に減少

Q 理学療法部門管理者として所属施設に業務の内容で働きかけたことはありますか。
n = 957



理学療法部門全体の収支について (1/2)

Q 業務の内容で働きかけた目的や内容をお答えください。 ※自由記載を集計
例) 理学療法士部門管理者としてスタッフの空き単位が出ないように業務調整をして、
理学療法部門が減収しないように配属転換を管理した等

- 配置転換・配置固定 (196)
- 加算要件の追加 (142)
短期集中リハ加算、認知症短期集中リハビリ実施加算、リハ総合計画評価料、休日のリハビリテーション提供を充実、がんリハ、退院時リハビリテーション指導の指示、障害福祉サービスのリハ加算Ⅱ→Ⅰ、A D L維持体制加算、個別機能訓練加算等
- 感染対策 (140)
- 個別リハ提供時間の増加・提供目標単位の明確化・複数担当制 (131)
- 有給取得・勤務者数の平均化 (83)
- 処方数の増加促進・新規対象者の開拓・処方同日介入 (68)
- 訪問リハサービスへの切り替え・拡充・新設 (34)
- 研修・業務見直し (30)
- 残業時間の削減・光熱費・経費節約 (14)
- 土日対応開始・頻度増加 (18)
- 病棟業務への協力 (入浴・食事・送迎等) (12)
- 業務のハイブリット (web・対面・書面) 化 (10)
- 自主トレ用のパンフレット・動画を作成・配布 (10)

Q 業務の内容で働きかけた目的や内容をお答えください。 ※自由記載を集計

- 確認の電話連絡を定期的に入れ、サービス再開の必要性が高ければサービス再開促した (9)
- コロナ慰労金・休業補償等の補助金申請 (7)
- 増員により増収が期待できる提案 (6)
- 病棟リハを365日稼働へ移行開始して減収を防いだ (6)
- 玄関トリアージ(検温・問診・患者誘導)や電話で診療予約調整等 (6)
- オンライン運動指導の検討 (5)
- 新サービスの企画立案、実施 (4)
- 病棟転換(療養病床→介護医療院、地域包括ケア) (3)
- 業務後に開催されているチーム会や委員会の業務時間内での開催 (2)
- 半テレワークを導入 (2)
- フレックスタイム制度の活用 (2)
- リハ助手増加 (2)
- 健診事業への理学療法士新規参入の検討と模索 (1)
- インソールなど自費でのリハビリの強化 (1)
- 役所から地域リハビリ派遣事業の委託 (1)
- 精神科療養病棟での運動器リハビリテーション算定に関わる業務の進め方検討 (1)
- 外来・訪問利用者の入院対応 (1)
- 退学者防止に向けた働きかけ (1)
- 職員への訴訟対策 (1)
- 目標の下方修正 (1)

Q 業務の内容で働きかけなかった理由をお答えください ※自由記載を集計例) 業務を調整する必要がなかった。等

- 関わる必要性がないため、収益含めて問題なし (174)
- 管理職ではないため (31)
- 感染対策に関しては看護師主導、委員会主導のため (22)
- リハ課内の工夫・意思統一で十分 (10)
- 仕方ないと思う・働きかけ困難と判断 (8)
- 感染拡大していない地域のため (8)
- 感染リスクを最優先にしたため (6)
- 上長が聞く耳を持たないため (4)
- 配置転換・有休調整をしたため (4)
- 一人職場であるため (4)

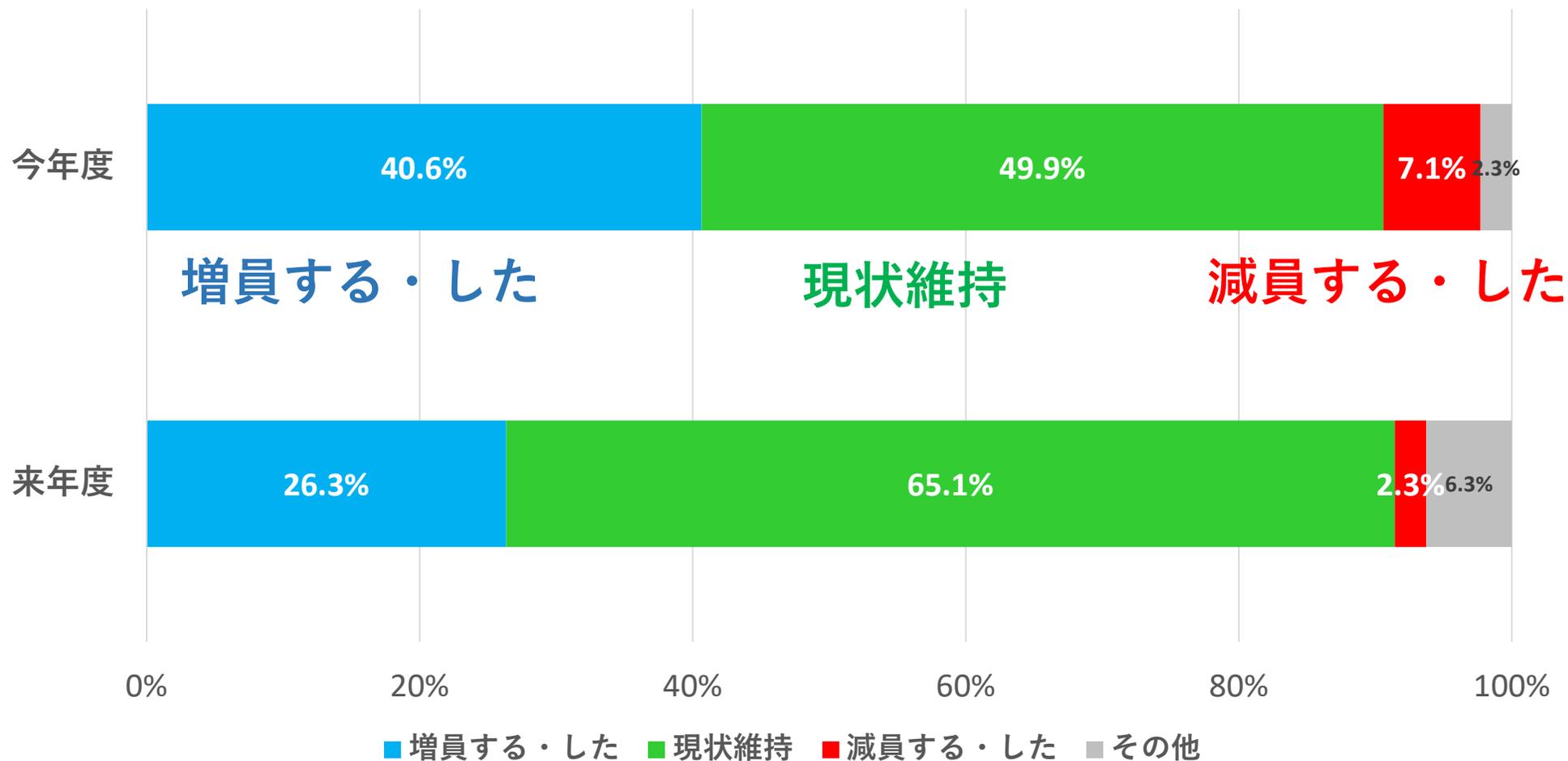
調査結果

4. 採用と給与について

採用と給与について

Q 今年度と来年度の人員計画についてお伺いします。

n = 957



Q 来年度の人員計画についてお伺いします。

※自由記載を集計

- 増員要請している（12）
- 未定（10）
- 欠員補充・現状維持（6）
- 関与できる立場にない（4）
- 減員・現状で余剰（3）
- 下期の収支状況を見て検討（2）
- 病床数等も変更あり、関連病院等への異動等を含め検討中
- 募集かけても希望者がいない

Q 今年度の人員計画についてお伺いします。

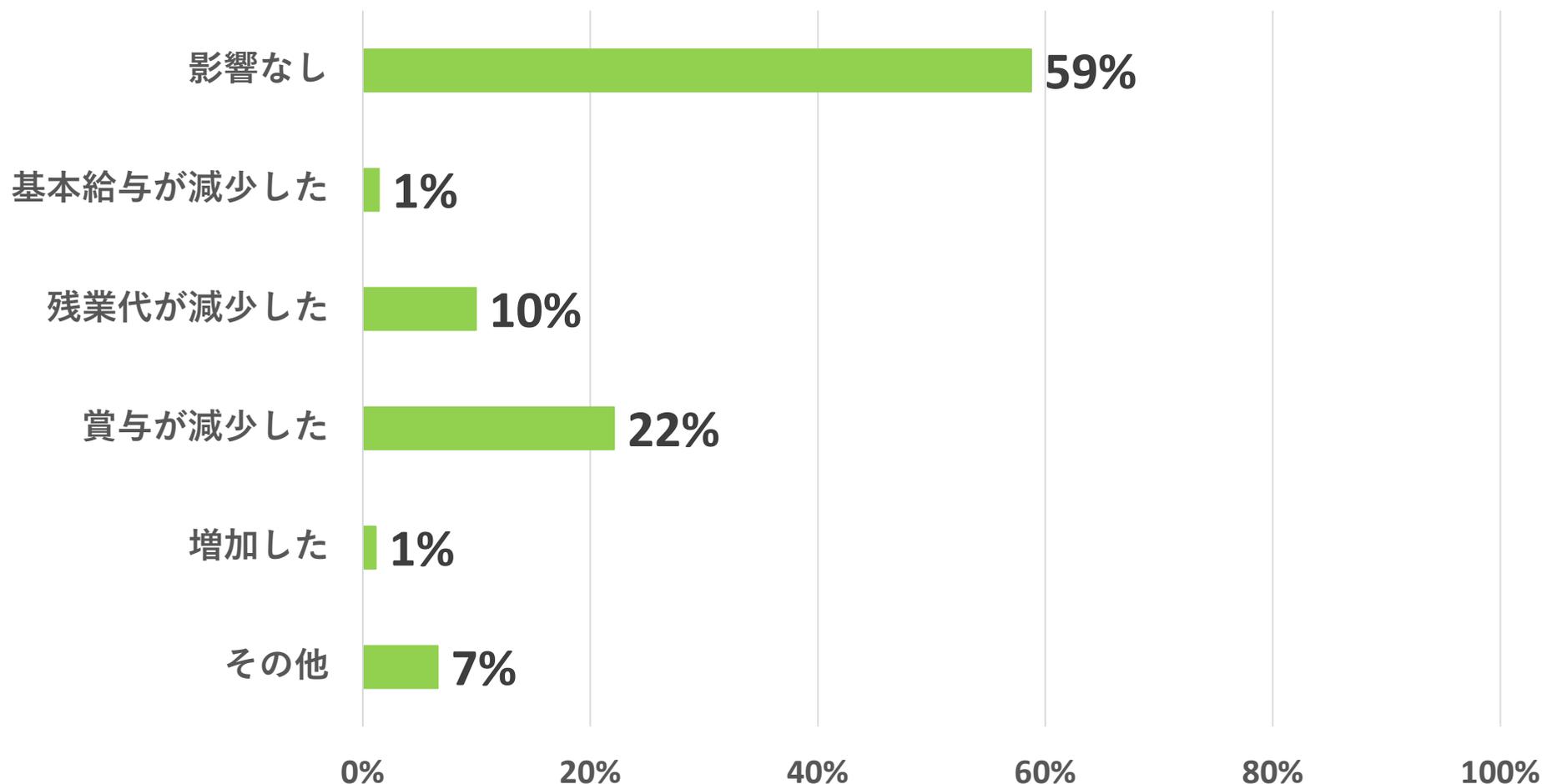
※自由記載を集計

- 欠員補充した・現状維持 (8)
- 未定 (2)
- 管理職でないのもので不明・権限なし (2)
- 増員予定も入職なし・募集中 (3)
- 作業療法士を1名増員 (2)
- パートタイマー、時短勤務者の増加と常勤スタッフの減少
- 育休者の復帰により、人員が-1状態から、-0.3に増加。
- 一般職員の枠を主任枠に配置替え
- 今までリハビリ職がいなかった
- 非常勤職員から常勤職員への転換したことで人数は減少
(非常勤2常勤1 → 常勤2)

採用と給与について

Q 今回の感染拡大でスタッフの給与やボーナスへの影響はありましたでしょうか

※複数選択n=957



採用と給与について

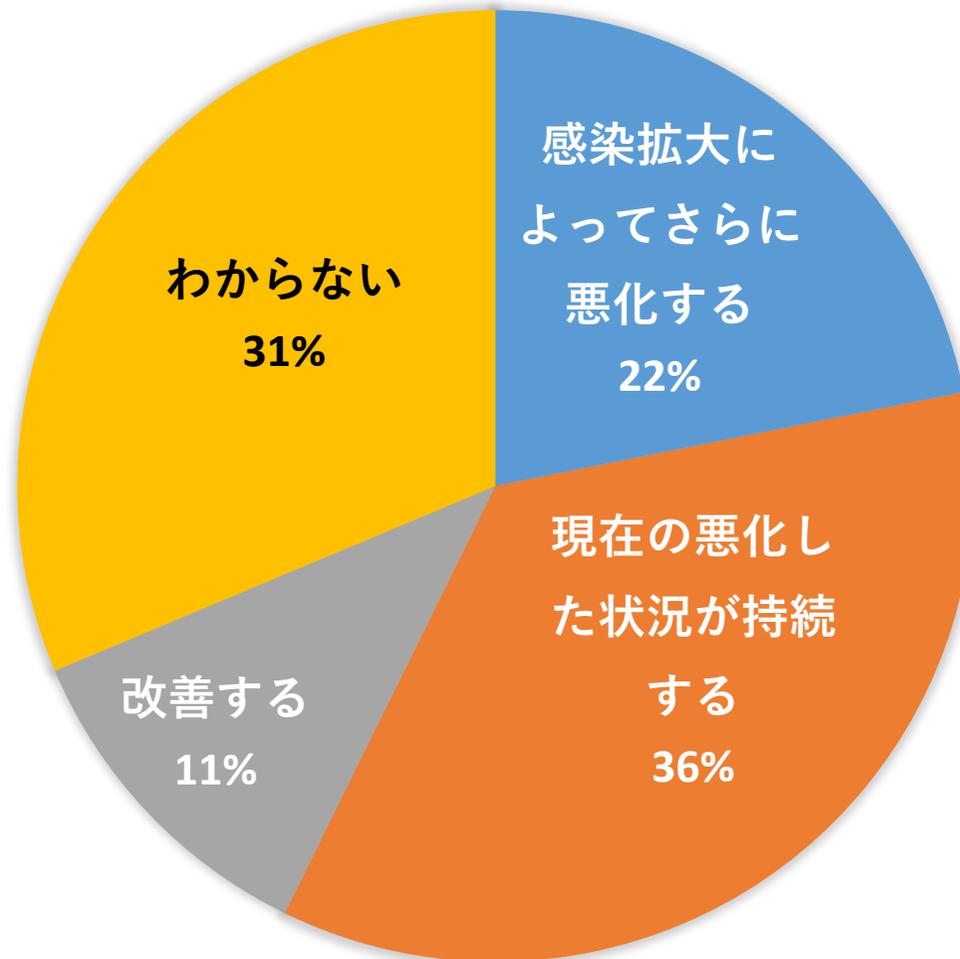
Q 今回の感染拡大でスタッフの給与やボーナスへの影響はありましたでしょうか

※自由記載を集計

- 夏季賞与は維持されたが、冬季は減少する見込み（18）
- 基本給与の昇給がなかった（15）
- 未定（16）
- 管理者手当、職種手当が削減された（2）
- 出来高分の減少（2）
- 一時帰休を命じられ、有給休暇が足りない分は雇用調整助成金で保障される日給の6～8割に減額されており、
- 手取りは減少
- 下半期に向けて減少する可能性あり
- 管理職は基本給も減少した
- 休業手当を支給
- 休業要請のため、その分の減少
- 給与としての体系はありませんが減収しています
- 金融機関への借り入れ増
- 研修費用や物品購入費が減少
- 賞与なし
- 賞与は昨年度並み
- 賞与は増加した
- 評価制度を変更し、昇給額やボーナスについて『一律』から『平均』とした。
- 有給消化が増えた
- COVID19 対応技師へのインセンティブ

採用と給与について

Q 今後1年スパンでの経営の見通しはいかがでしょうか
n=957

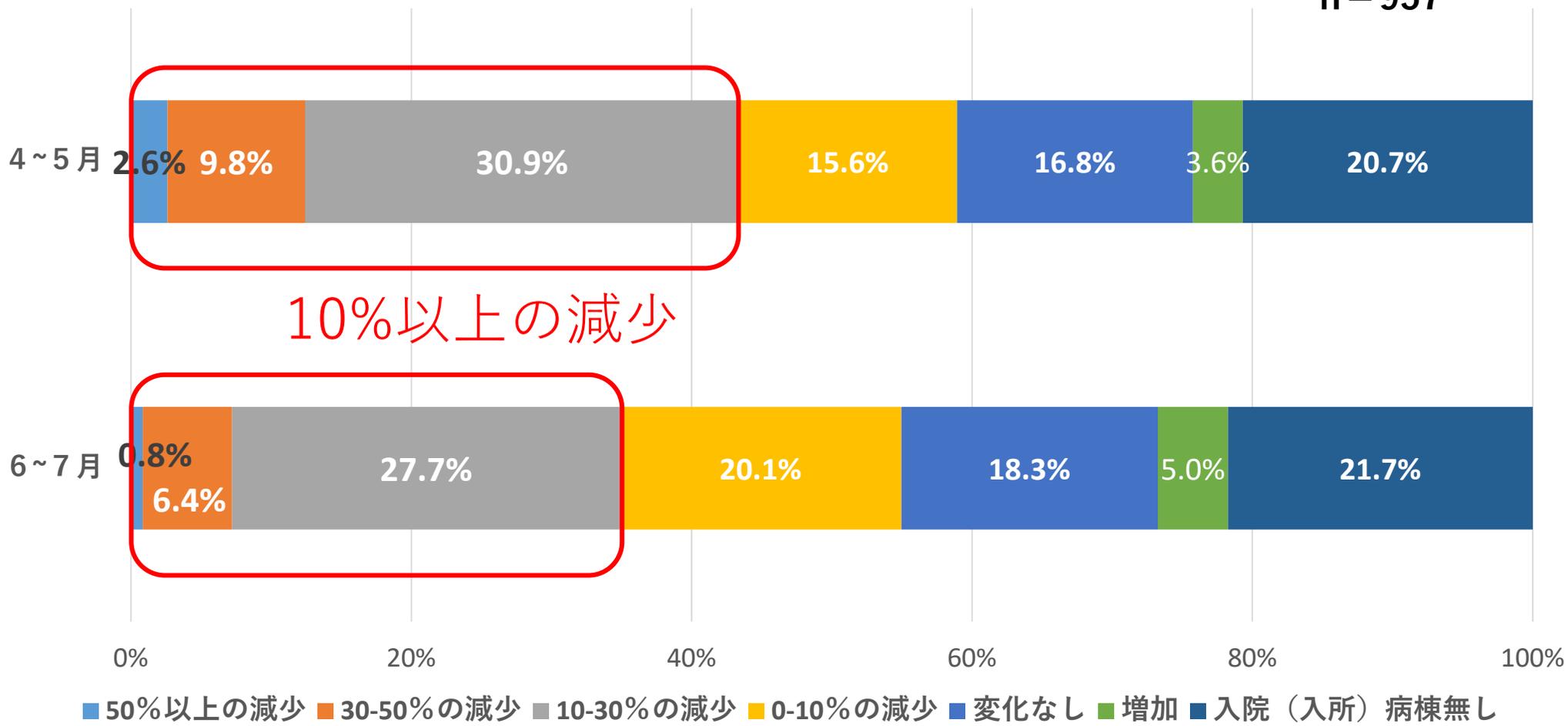


調査結果

5. 入院（入所）の影響について

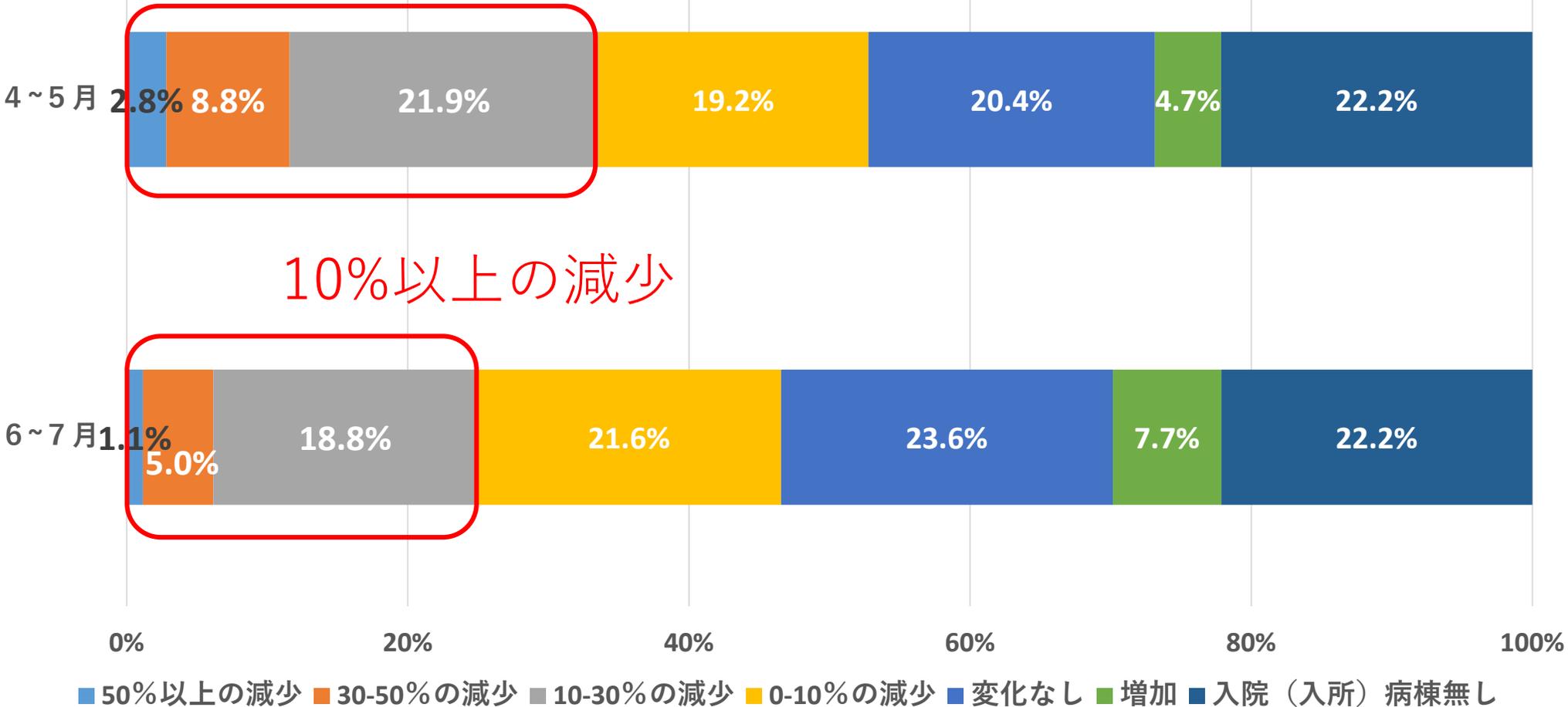
入院（入所）の影響について

Q 病床（入所）稼働率についてお伺いします。前年同月と比較してお答えください
n = 957



入院（入所）の影響について

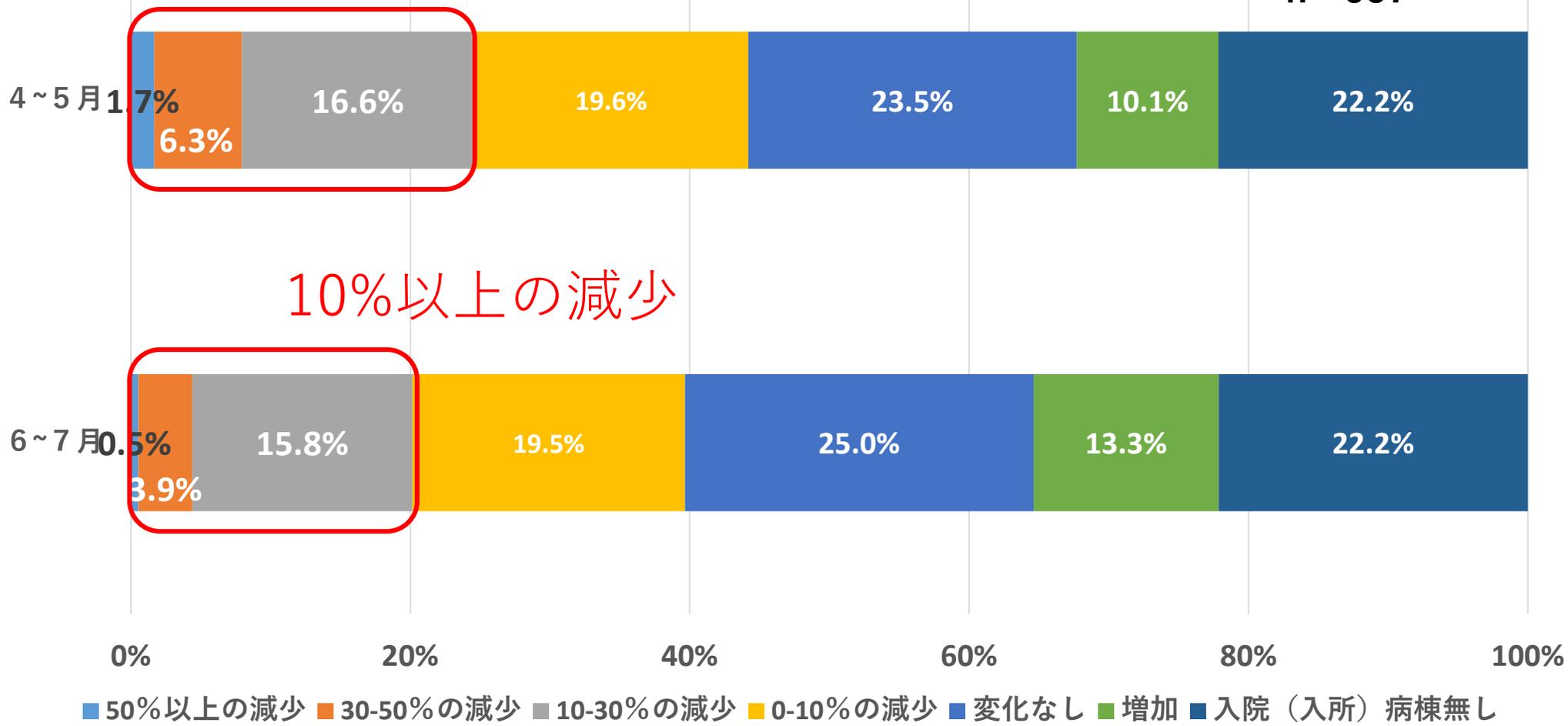
Q 理学療法新規患者取扱い件数についてお伺いします。前年同月と比較してお答えください
n = 957



入院（入所）の影響について

Q 理学療法実施延べ単位数についてお伺いします。前年同月と比較してお答えください

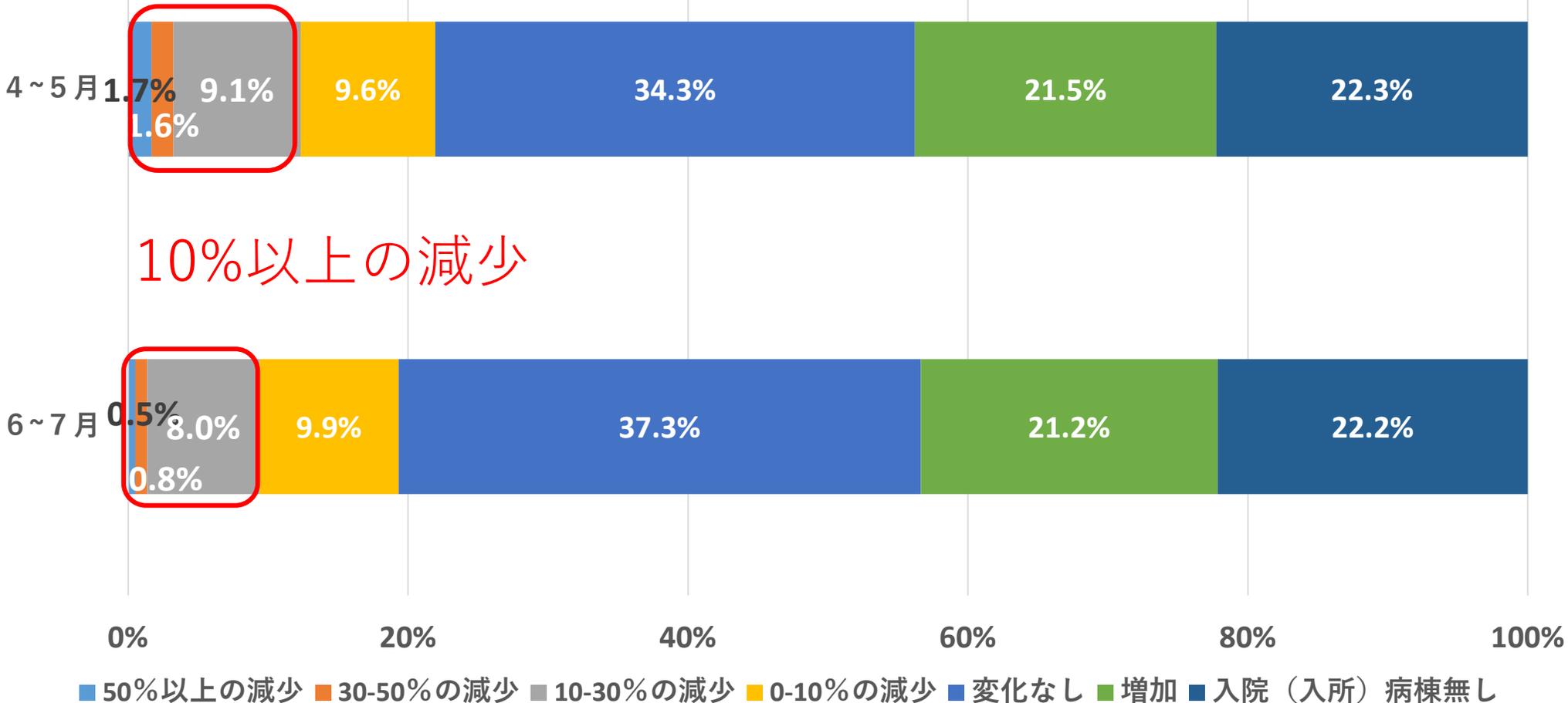
n=957



入院（入所）の影響について

Q 患者（入院・入所者）一人あたりの単位数（入院・入所）についてお伺いします
前年同月と比較してお答えください

n = 957



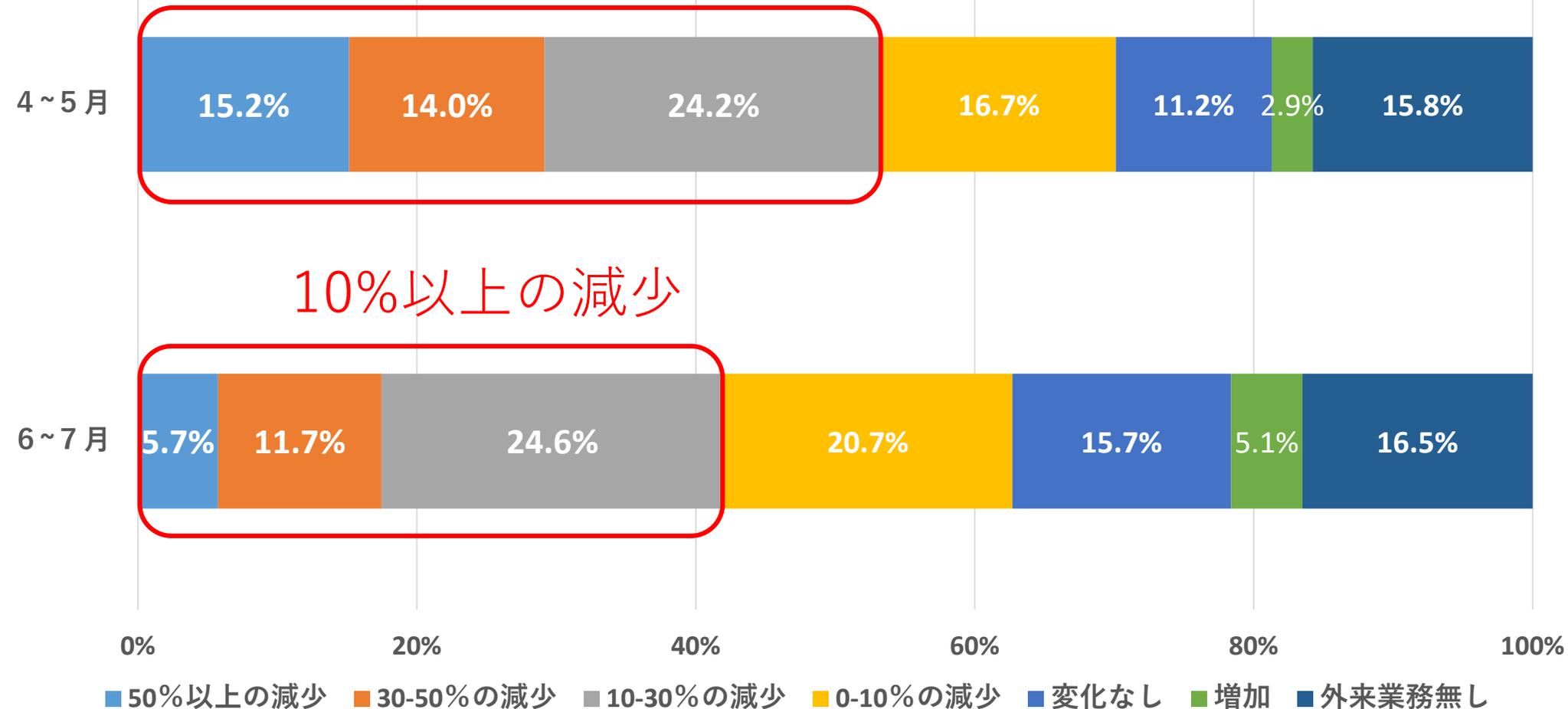
調査結果

6. 外来（通所）の影響について

外来（通所）の影響について

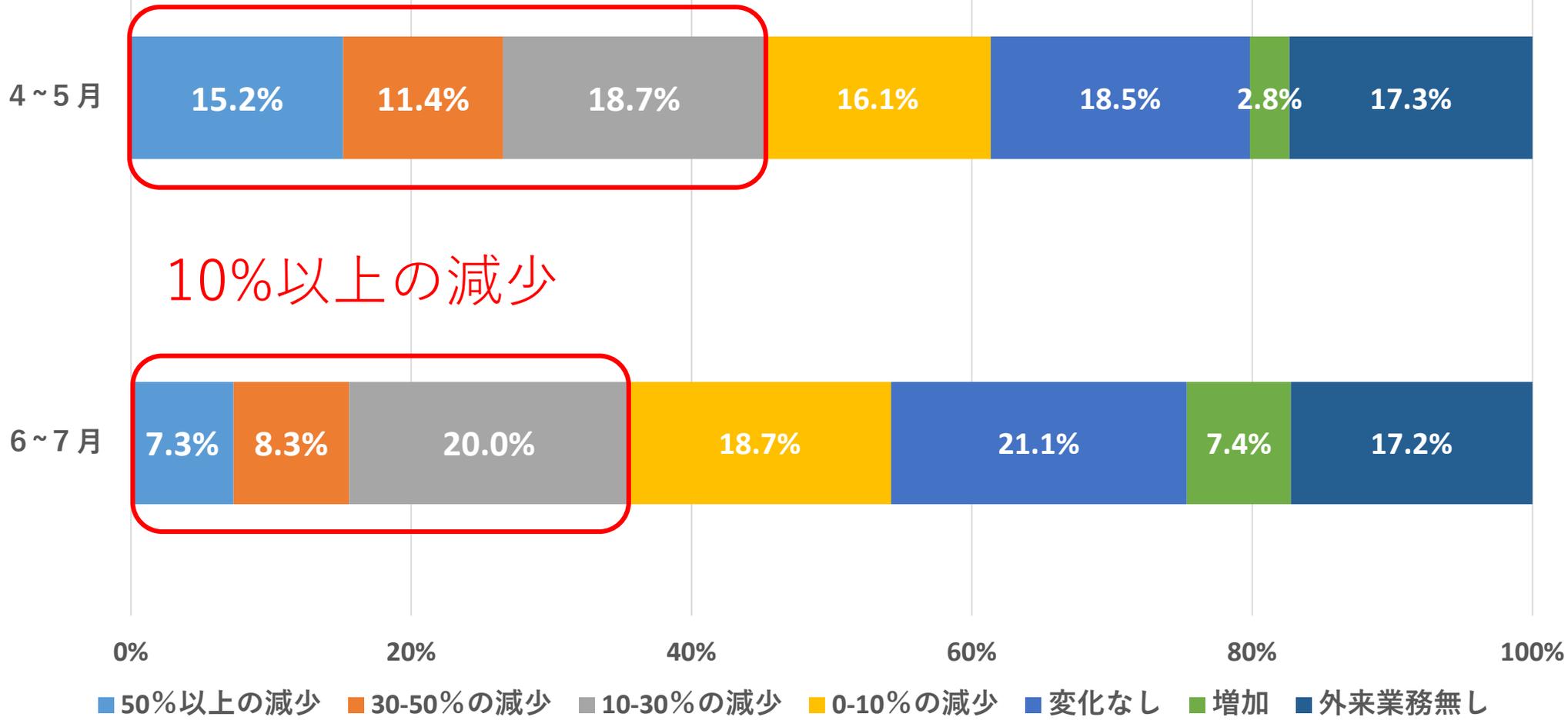
Q 患者数についてお伺いします。前年同月と比較してお答えください

n = 957



外来（通所）の影響について

Q 理学療法新規患者取扱い件数についてお伺いします。前年同月と比較してお答えください
n = 957

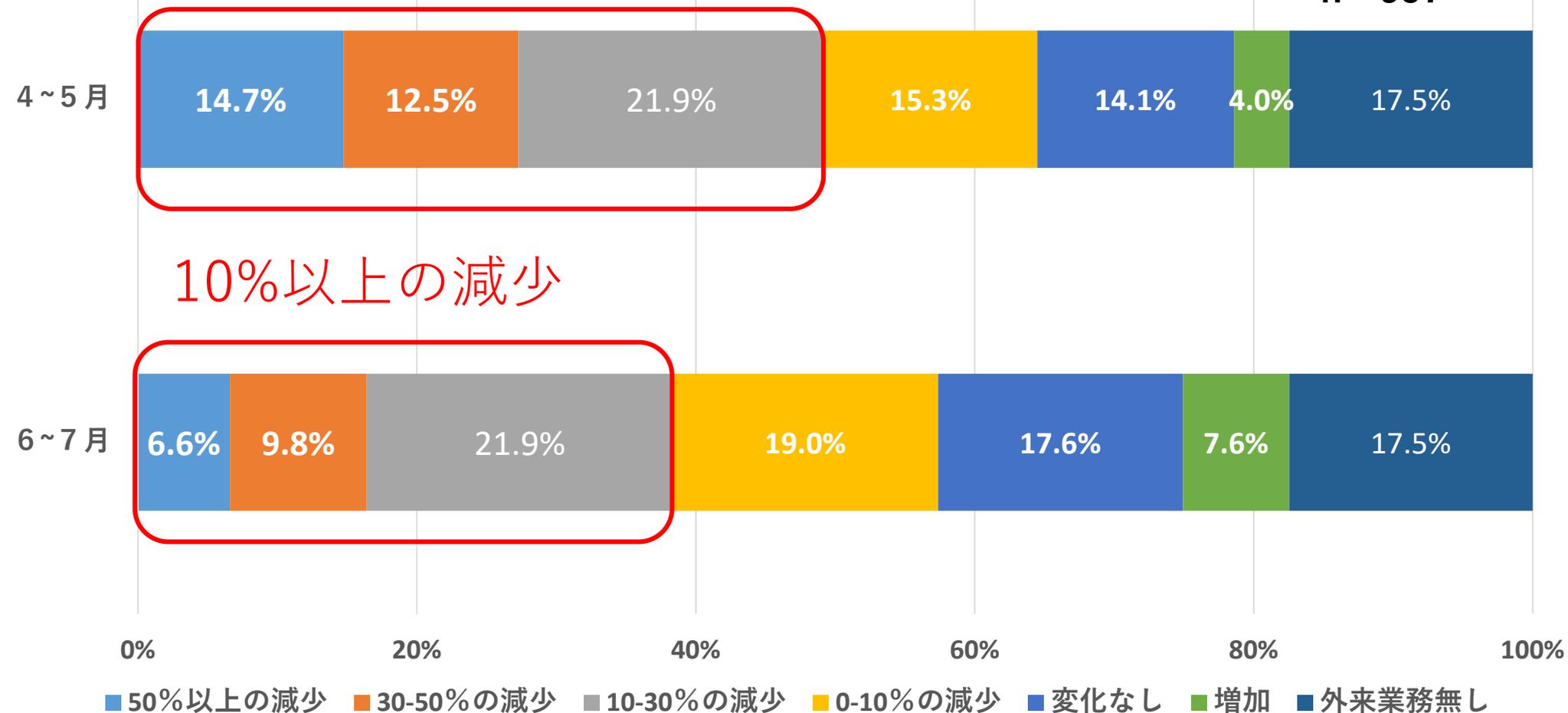


10%以上の減少

外来（通所）の影響について

Q 理学療法実施のべ単位数についてお伺いします。前年同月と比較してお答えください

n = 957



調査結果

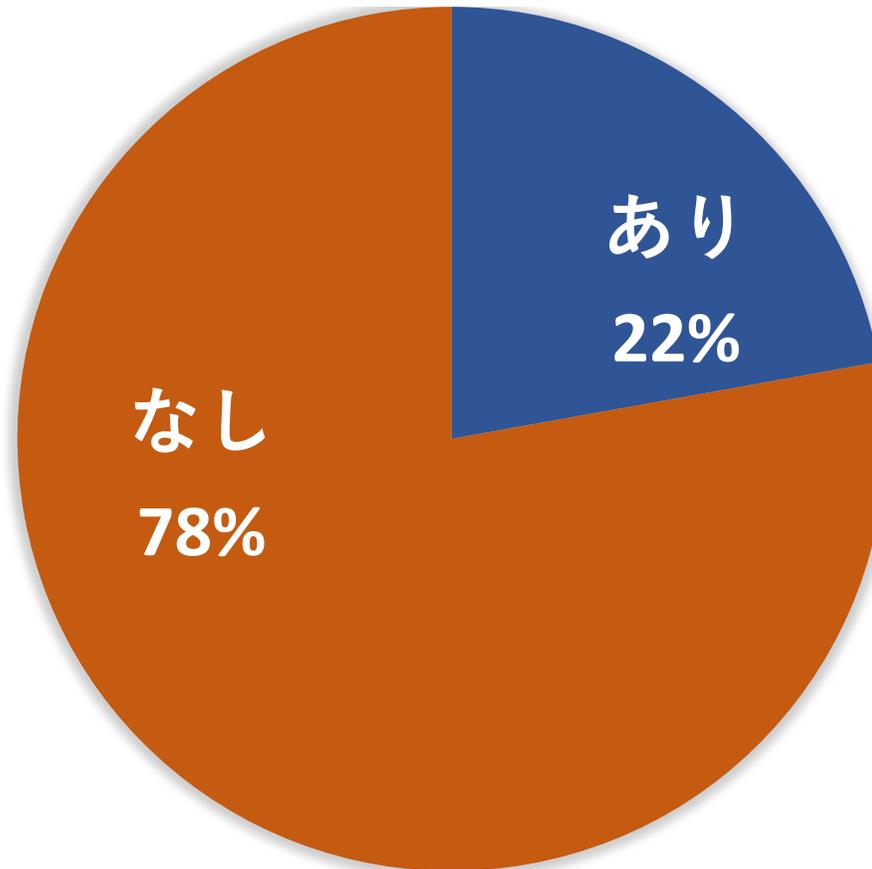
7. 管理者ネットワークの活用について

※協会指定管理者制度について：

全国の都道府県士会で指定管理者の研修会を開催しており、協会指定管理者（初級）の登録者数を増やし、管理者のネットワーク（職域別、市町村別）を広げる機会を作り、相互交流と相互情報共有を行うことで、職場の管理者の能力を向上させ、臨床現場の質の向上に資することを目指しています。

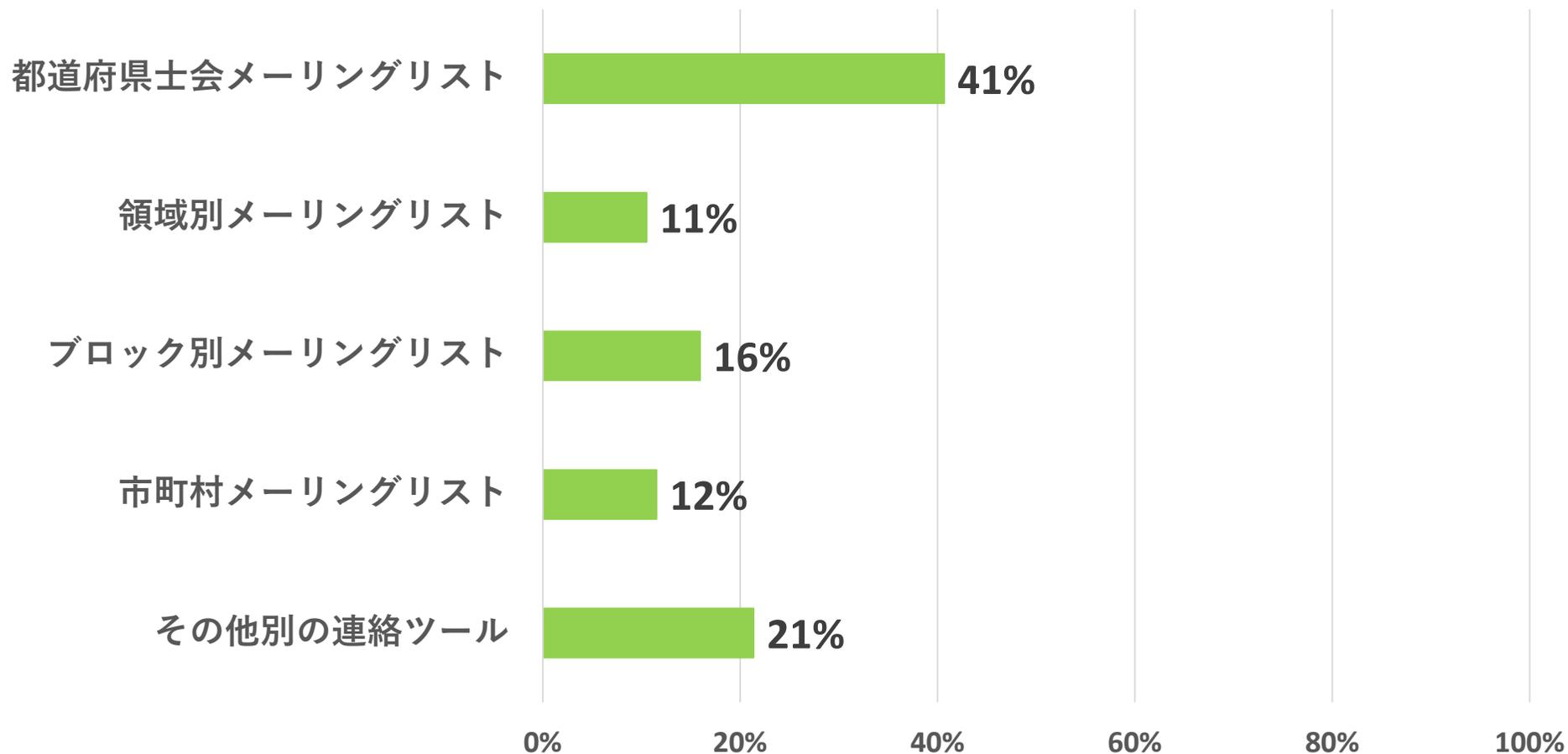
Q ネットワークを活用した情報共有を行いましたか

n = 957



管理者ネットワークの活用について

Q どのようなネットワークを活用しましたか ※複数選択可
n = 295



Q どのようなネットワークを活用しましたか

※自由記載を集計

【媒体】

- zoomミーティング（5）
- 個人的なメーリングリスト（5）
- LINE（4）
- 個別に電話（4）
- web会議（3）
- Microsoft Teams（2）
- Web（2）
- 訪問リハ連絡会のメーリングリスト
- Facebook
- Googleアンケート
- MCS京あんしんネット
- POS net
- PT協会コロナ対策チームへ参加等
- slack
- オンライン勉強会
- グループセッション
- サイボウズ
- チャットワーク

【コミュニティ】

- グループ病院内情報共有（3）
- 区単位のリハネットで情報共有している
- 県協会担当者からのメールによる情報提供
- 県内協会指定管理者ネットワーク
- 交流会に参加
- 士会職能局のBAND
- 市内急性期グループ管理者
- 指定管理者向けの情報を各管理者で共有
- 事務局からのメール情報
- 自治体HP
- 情報交換会
- 市内感染対策病院リハビリテーション連携
- 地域理学療法部門のCOVIDチーム
- 地域連携パスでの個人的NW、近隣病院間の個人的NW
- 定期的なzoom会議、府士会ライン配信からの情報
- 提携病院連絡ツール
- 都道府県士会内での活動における情報共有ツール
- 県看護協会
- 回復期のメーリングリスト
- 近隣の施設との連絡